第一講・きいちゃん（物語文）

一題目　次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

きいちゃんは、教室の中で、いつもさびしそうでした。たいていのとき、うつむいて、独りぼっちですわっていました。

だから、きいちゃんが職員室のわたしのところへ、「せんせい。」って、大きな声で飛びこんで来てくれたときは、本当にびっくりしました。①こんなにうれしそうなきいちゃんを、わたしは初めて見ました。

「どうしたの。」

そうたずねると、きいちゃんは、

「お姉さんが結婚（けっこん）するの。わたし、結婚式に出るのよ。」

って、にこにこしながら教えてくれました。

「わたし、何着て行こうかな。」

と、とびきりのえがおで話すきいちゃんに、②わたしも、とてもうれしくなりました。

それから一週間くらいたったころ、教室で、机（つくえ）に顔をおし付けるようにして、一人で泣いているきいちゃんを見つけました。

なみだでぬれた顔を上げて、

「お母さんがわたしに、結婚式に出ないでほしいって言うの。お母さんは、わたしのことがはずかしいのよ。お姉さんのことばかり考えているの。わたしなんて、生まれてこなければよかったのに――。」

やっとのことでそう言うと、また、激（はげ）しく泣きました。

でも、きいちゃんのお母さんは、いつもいつも、きいちゃんのことばかり考えているような人でした。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

きいちゃんは、小さいときに高熱が出て、それがもとで、手や足が思うように動かなくなってしまいました。そして、高校生になった今も、訓練を受けるためにおうちを遠くはなれて、この学校へ来ていたのです。

〈山元（やまもと）加津子（かつこ）「きいちゃん」より〉

(1) ――線①「こんなにうれしそうなきいちゃんを、わたしは初めて見ました」とありますが、ふだんのきいちゃんはどんな様子なのですか。文中から八字でぬき出しなさい。

(2) ――線②「わたしも、とてもうれしくなりました」とありますが、ここからわかる「わたし」の人物像としてふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　きいちゃんのお姉さんの気持ちを考えられない冷たい人物。

イ　きいちゃんの気持ちをまったく理解しないたよりない人物。

ウ　きいちゃんのことをいつも気にしている心のやさしい人物。

エ　きいちゃんができないことをはっきりと言う厳（きび）しい人物。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(3)　「わたし」は、きいちゃんのお母さんをどんな人物だと思っていますか。文中の言葉を使って答えなさい。

[　　　　　　]

(4)　きいちゃんはなぜこの学校に通っているのですか。次の文の□にあてはまる言葉を、文中からぬき出しなさい。

きいちゃんは小さいときに[　　]が出て、[　　　]が思うように動かなくなってしまったので、[　　]を受けるために、高校生になった今もおうちを遠くはなれたこの学校に通っている。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

二題目　**次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。**

宅配便(たくはいびん)で、お姉さんのところへゆかたを送ってから、二日ほどたったころでした。きいちゃんのお姉さんから、わたしのところに電話がかかってきました。

お姉さんは、きいちゃんだけでなくて、わたしにまで結婚式(けっこんしき)に出てほしいと言うのです。わたしは、きいちゃんのお母さんの気持ちを考えると、どうしたらいいのか分からず、お母さんに電話をしました。

お母さんは、

「①あの子が、どうしてもそうしたいと言うのです。出てやってください。」

とおっしゃるのです。わたしは、きいちゃんと結婚式に出ることにしました。

花よめ姿(すがた)のお姉さんは、とてもきれいでした。そして、幸せそうでした。わたしも、とても幸せな気持ちになりました。でも、気になることがありました。

式が進むにつれて、結婚式に出ておられた何人かの方が、②きいちゃんを見て、何かひそひそ話しているのです。「きいちゃんは、どう思っているかしら。やっぱり出ないほうがよかったのではないかしら。」と、そんなことを考えていたときでした。花よめさんが、お色直しをして、とびらから出てきました。

お姉さんは、きいちゃんがぬったあのゆかたを着て、出てきたのです。ゆかたは、お姉さんに、とてもよく似合っていました。きいちゃんもわたしもうれしくてたまらず、手をにぎり合って、きれいなお姉さんばかり見つめていました。

お姉さんは、おむこさんとマイクの前に立たれて、こんなふうに話しだされました。

「このゆかたは、わたしの妹がぬってくれました。妹は、小さいときに高い熱が出て、手足が不自由になりました。そのために、家からはなれて生活しなくてはなりませんでした。家で父や母と暮(く)らしているわたしのことを、うらんでいるのではないかと

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

思ったこともありました。でも、妹は、そんなことは決してなく、わたしのために、こんな立派(りっぱ)なゆかたをぬってくれたのです。妹はわたしの誇(ほこ)りです。」

そして、きいちゃんとわたしを呼(よ)んで、わたしたちをしょうかいしてくれました。

「これが、わたしの大事な妹です。」

③式場じゅうが、大きな拍手(はくしゅ)でいっぱいになりました。

なんてすばらしい姉妹でしょう。わたしは、なみだがあふれてきて、どうしても止めることはできませんでした。

きいちゃんは、きいちゃんとして生まれ、きいちゃんとして生きてきました。そして、④これからも、きいちゃんとして生きていくのです。もし、名前をかくしたり、かくれたりしなければならなかったら、きいちゃんの生活は、どんなにさびしいものになったでしょうか。

きいちゃんは、お母さんに、

「生んでくれてありがとう。」

とお話ししたそうです。

きいちゃんは、とても明るい女の子になりました。これが、本当のきいちゃんの姿だったのだと思います。あの後、きいちゃんは、和裁(わさい)を習いたいと言いました。そして、それを一生のお仕事に選びました。

〈山元(やまもと)　加津子(かつこ)「きいちゃん」より〉

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(1)　――線①「あの子が、どうしてもそうしたいと言う」とありますが、具体的にはどうしたいのですか。ふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　きいちゃんが、お姉さんの結婚式に出たいということ。

イ　きいちゃんが、お姉さんの結婚式に「わたし」といっしょに出たいということ。

ウ　お姉さんが、きいちゃんに結婚式に出てほしいということ。

エ　お姉さんが、きいちゃんと「わたし」に結婚式に出てほしいということ。

□

(2)　――線②「きいちゃんを見て、何かひそひそ話している」とありますが、どんなことを話していたのだと考えられますか。次の文の□にあてはまる言葉を、文中からぬき出しなさい。

きいちゃんの□□□□□□だということ。

(3)　――線③「式場じゅうが、大きな拍手でいっぱいになりました」とありますが、なぜだと考えられますか。次の文の□にあてはまる言葉を答えなさい。一つ目と二つ目の□は文中からぬき出し、三つ目の□は自分で考えて答えなさい。

結婚式にきていた人たちが、□□□□□と□□□□□の強いきずなに、□□したから。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

(4)　――線④「これからも、きいちゃんとして生きていく」とありますが、ここから「わたし」のどのような心情がわかりますか。ふさわしいものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　きいちゃんはありのままのきいちゃんでいいのだという気持ち。

イ　きいちゃんに手足が治るように努力してほしいという気持ち。

ウ　きいちゃんに今よりも強く生きていってほしいという気持ち。

エ　きいちゃんは本当の自分を取りもどした方がいいという気持ち。

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

第一講●確認テスト

次の漢字の部首を選びなさい。

１　校
ア　きへん　イ　いとへん
ウ　ごんべん　エ　さんずい

２　部
ア　こざと　イ　おおざと
ウ　りっとう　エ　おおがい

３　聞
ア　みみ　イ　かくしがまえ
ウ　もんがまえ　エ　くにがまえ

４　厚
ア　ひ　イ　こ
ウ　まだれ　エ　がんだれ

５　広
ア　がんだれ　イ　やまいだれ
ウ　まだれ　エ　しんにょう

©RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。

解答編

小学６年　国語〔基礎〕

第一講　きいちゃん（物語文）

一題目

(1) いつもさびしそう
(2) ウ
(3) (例)いつもいつも、きいちゃんのことばかり考えているような人物。
(4) 高熱・手や足・訓練

二題目

(1) エ
(2) 手足が不自由
(3) きいちゃん・お姉さん・(例)感動
(4) ア

〈確認テストの解答〉

１　ア　２　イ　３　ア　４　エ　５　ウ

© RECRUIT HOLDINGS
本サービスに関する知的財産権その他一切の権利は著作権者に帰属します。
また本サービスに掲載の全部または一部につき無断複製・転載を禁止します。